

生態系保全農業特論 (2単位)

担当者氏名 宮浦理恵

◆学習・教育目標

本科目では、持続的食料生産システムのための理論と実態を、食料生産の分野と流通・消費の分野に分けて習得し、将来の方向性を展望する。第1部の食料生産分野では、農業生態学を基礎として農業生態系のデザインと管理を世界各地の事例を取り上げて実証的に検証し、生態系保全農業の在り方を考察する。第2部の流通・消費分野では、生態学のみならず社会・経済学的視点も取り入れ、参加型・学際的研究のケーススタディを解析し、新たなシステムの方向性を描き出す。

◆取り扱う領域（キーワードで記載）

農業生態学	持続的農業	有機農業	地域
食料生産システム	学際的研究	参加型研究	ケーススタディー

◆授業の進行等について

	テーマ	内 容	授業のねらいまたは準備しておく事項
1	課題の設定	科目的目的と課題の設定	
2	第1部 食料生産分野	環境要因1：エネルギーと物質	毎回の授業で、農業生態学の理論的枠組みを理解した上で、生態系を保全しつつ上質で量的に保障された食料生産を確保するシステムを考究する。
3		環境要因2：水・土壤	
4		環境要因3：農業生物の種類と役割	
5		農生態学1：農業生態系の多様性と安定性	
6		農生態学2：生態系の再生プロセス	
7		農生態学3：農業生態系のデザインと管理	
8		事例分析1：慣行農業、有機農業、自然農法	
9	第2部 流通・消費分野	持続的農業から持続的食料生産システムへ	
10		地産地消・道徳的食料消費	
11		オーガニックビジネスと小規模有機農家	
12		質的量的食料保障・食料と健康	
13		社会的公正・公共政策	
14		事例分析2：CSA、ファーマーズマーケット	
15	総括	総合討論	日本の事例のみならず、世界各地の取り組みとその背景、政策上の支援など自分の選んだ課題について十分時間をかけて文献調査しておくこと。

◆教科書及び資料（授業前に読んでおくべき本・資料）

書名／著者／発行所（発行年）

Agroecology: The Ecology of Sustainable Food Systems/ Stephen R. Gliessman/ CRC (2006)

◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所（発行年）

代替農業の探究—環境と健康にやさしい農業を求めて/藤本彰三・松田藤四郎/東京農業大学出版会 (2005)

◆評価の方法（レポート・小テスト・試験・課題等のウェイト）

小テスト2回(各25%)、発表50%

◆その他受講上の注意事項

教科書を用いて理論を習得し、事例分析やディスカッションでは応用面の理解を発展させる。